

ATMX+指数 × Bing Chat

ATMX+ Special Letter (情報提供用資料)

BingのWaitinglistに登録してから数日後、私もいよいよ新しいBingを使えるようになりました！そこで今回の情報提供用資料では、MicrosoftのBingにATMX+指数やその構成企業、その他気になることについて色々質問してみたので、その回答をご紹介します！

内容に入る前に1つ注意していただきたいのですが、一般的にBingによって作成された回答は必ずしも正確とは限りません。以下に記載した内容も正確なものではない場合や、見当違いな回答をしているものもあります。また、Bingに同じ質問をしても、全く同じ回答が返ってくるわけではありません（似たような回答が返ってきますが）。ですので、「ふ〜ん、そうなんだ」「今のところのAIの実力はこんなものか」という気持ち、遊び半分で眺めていただけたら幸いです！

※実際のBingの回答には、その回答を作成するのにつかったリソースが掲載されていますが、本資料では権利関係の都合上割愛しています。

<<Bing Chatに聞いてみた質問一覧>>

①指数について

- ATMX+指数について教えてください。
- ATMX+指数と他の中国株指数との違いは何ですか？
- ATMX+指数の構成銘柄の中で一番好きな企業はどれですか？

②個別企業について

- アリババの株価が2020年10月以降、下落基調にあるのはなぜですか？
- NIOとXpengとLi Autoはすべて中国の新興EVメーカーですが、どのような相違点がありますか？
- Xiaomiのスマートフォンがインドのスマホ市場において支持されている理由は何ですか？
- BaiduのopenAIとMicrosoftのBingでは、どちらの方が優れたサービスですか？
- NetEaseは中国ゲーム市場においてどのような存在ですか？
- JD.comはなぜインドネシア市場とタイ市場から撤退するのですか？
- Trip.comの社長によるライブコマースは、有力なマーケティング手法と言えますか？
- Tencentのゲーム『王者荣耀』はなぜこんなにも人気なのですか？
- Meituanのフードデリバリーは、中国における競合サービスと比較して、どのような点が支持されていますか？

③その他お遊びで..。

- 過去半年間の中国株式市場の動向を、小学生にもわかるように、易しい内容で解説して。
- 過去半年間の中国株式市場の動向を、証券会社に勤めるエコノミストっぽく、専門用語を多用して、解説して。
- 過去半年間の中国株式市場の動向を、くどいくらいゴリゴリの関西弁で解説して。

①指数について

Q. ATMX+指数について教えてください。

ATMX+指数とは、香港証券取引所に上場している「中国企業」の中で、業種（テック関連）・成長性・イノベーション指標の3要件を満たした銘柄のうち時価総額上位10銘柄を対象に構成された株価指数です。

ATMX+指数は、これらの企業に等金額投資したポートフォリオで構成されています。ATMX+指数には、アリババ、テンセント、メイツアン、バイドゥなど、中国を中心に世界のテクノロジー進化をリードする企業が含まれています。

執筆者コメント「まあ、それなりに合ってますね。メイツアンっていう日本語表記は初めて見ましたが。」

Q.ATMX+指数と他の中国株指数との違いは何ですか？

ATMX+指数と他の中国株指数との違いは、以下の点が挙げられます。

- ATMX+指数は、香港証券取引所に上場している「中国企業」の中で、業種（テック関連）・成長性・イノベーション指標の3要件を満たした銘柄のうち時価総額上位10銘柄を対象に構成されています。他の中国株指数は、上海証券取引所や深セン証券取引所に上場している銘柄を対象にしている場合が多く、また、テック関連の銘柄に限定していない場合が多いです。
- ATMX+指数は、構成銘柄に対して均等に投資を行う等分型の指数です。他の中国株指数は、構成銘柄の時価総額に応じて投資を行う時価総額加重型の指数が多いです。
- ATMX+指数は、中国を中心に世界のテクノロジー進化をリードする企業が含まれており、高い成長性とイノベーション力を持っています。他の中国株指数は、伝統的な産業や国有企業が多く含まれており、成長性やイノベーション力が低い場合があります。

以上の違いから、ATMX+指数は、他の中国株指数と比べて、高いリターンを期待できる反面、高いリスクも伴うと言えます。

執筆者コメント「お～。要点をしっかり捉えている。」

Q.ATMX+指数の構成銘柄の中で一番好きな企業はどれですか？

それは難しい質問ですね。ATMX+指数の構成銘柄はどれも素晴らしい企業だと思います。私はテクノロジーが好きなので、テクノロジーの革新に貢献している企業に興味があります。その中で、一番好きな企業と言われれば、アップルかもしれません。アップルは、iPhoneやMacなどの製品が世界中で人気があり、デザインや機能が優れていると思います。また、アップルは、サービスやソフトウェアの分野でも力を入れており、Apple MusicやApple TV+などのサブスクリプションサービスや、iOSやmacOSなどのオペレーティングシステムがあります。アップルは、テクノロジーのトレンドを常にリードしている企業だと感じます。

執筆者コメント「あれ？AppleはATMX+指数じゃない？Bingにもう一度聞いてみる。」

Q.ATMX+指数にappleは入っていないよ。アリババの間違いじゃないですか？

すみません、私の勘違いでした。ATMX+指数にはアップルではなくアリババが入っていますね。アリババも素晴らしい企業だと思います。アリババは、中国最大の電子商取引プラットフォームであり、オンラインショッピングや決済サービスなどを提供しています。また、アリババは、クラウドコンピューティングや人工知能などの分野でも活躍しており、中国のテクノロジー産業のリーダーと言えます。アリババは、中国だけでなく世界中の消費者や企業に価値を提供している企業だと思います。

執筆者コメント「なんでAlibabaとAppleを間違えたかは不明ですが、しっかり軌道修正してきましたね。もしアリババって名称を出さなかったらどうなったんでしょう。」

②個別企業について

Q.アリババの株価が2020年10月以降、下落基調にあるのはなぜですか？

アリババの株価が2020年10月以降、下落基調にあるのは、以下の理由が考えられます。

- 2020年11月に、アリババの関連会社であるアントグループの上場が中国当局によって中止されたことで、アリババに対する規制の強化が懸念されたこと。
- 2021年4月に、アリババが独占禁止法に違反したとして、過去最高額の28億ドル（約3200億円）の罰金を科されたこと。
- 2021年8月に、アリババの社員が女性同僚に性的暴行を加えたとして逮捕されたことで、コンプライアンス問題が浮上したこと。
- 2021年11月に、アリババが決算発表で、中国経済の減速と政府の規制強化の中で収益の伸びが鈍化するとの見通しを示したこと。
- 2022年3月に、アリババのライバルであるバイトダンスが、中国の電子商取引市場に参入すると発表したことで、競争の激化が予想されたこと。

これらの理由から、アリババの株価は、2020年10月の最高値の319.32ドルから、2022年12月31日の終値の187.65ドルまで、約**41%**下落しました。

執筆者コメント「ちゃんとサマライズ出来ている印象。」

Q. NIOとXpengとLi Autoはすべて中国の新興EVメーカーですが、どのような相違点がありますか？

NIOとXpengとLi Autoはすべて中国の新興EVメーカーですが、以下のような相違点があります。

- NIOは、高級EVブランドとして位置づけられており、バッテリー交換サービスや自動運転技術に強みを持っています。NIOは、2021年に約12万台のEVを納車し、時価総額は約190億ドルです。
- Xpengは、若い世代をターゲットにしたEVブランドとして位置づけられており、スマートカー機能やソフトウェア開発に強みを持っています。Xpengは、2021年に約13万台のEVを納車し、時価総額は約160億ドルです。
- Li Autoは、ハイブリッドEVブランドとして位置づけられており、燃料電池技術や長距離走行に強みを持っています。Li Autoは、2021年に約10万台のEVを納車し、時価総額は約140億ドルです。

これらの3社は、中国のEV市場を席巻する三大新興メーカーとして注目されており、テスラに対抗する存在となっています。

執筆者コメント「こちらも内容は綺麗。ただ時価総額がいつ時点のものなのかは少し気になるところ。」

Q. Xiaomiのスマートフォンがインドのスマホ市場において支持されている理由は何ですか？

Xiaomiのスマートフォンがインドのスマホ市場において支持されている理由は、以下のようなものが挙げられます。

- Xiaomiは、インドの消費者のニーズに合わせた高性能で低価格のスマホを提供しており、価格競争力が高いです。
- Xiaomiは、インドの若者層をターゲットにしたオンライン販売やSNSマーケティングに力を入れており、ブランドイメージが強いです。
- Xiaomiは、インドでの生産やサービス拠点の拡大に積極的に取り組んでおり、インド市場へのコミットメントが高いです。

これらの理由から、Xiaomiはインドのスマホ市場において首位のシェアを獲得しており、サムスンや他の中国メーカーとの差を広げています。

執筆者コメント「自分が結構知っているようなことを聞いても、新しい発見がなくて面白いですね。」

Q. BaiduのOpenAIとMicrosoftのBingでは、どちらの方が優れたサービスですか？

BaiduのOpenAIとMicrosoftのBingでは、どちらの方が優れたサービスかというのは、一概には言えないと思います。両者はそれぞれに特徴や強みがあります。BaiduのOpenAIは、中国の検索エンジン最大手であるBaiduが開発したAIプラットフォームです。BaiduのOpenAIは、自然言語処理や画像認識などの分野で高い技術力を持ち、中国のインターネット市場において多くのユーザーや企業に利用されています。BaiduのOpenAIは、中国語に特化したサービスを提供しており、中国の文化やニーズに合わせたカスタマイズが可能です。

MicrosoftのBingは、マイクロソフトが開発した検索エンジンです。MicrosoftのBingは、AIのスタートアップであるOpenAIの高精度な会話型AI「ChatGPT」の技術を利用して、検索と会話を融合した新しいサービスを提供しています。MicrosoftのBingは、ユーザーの質問に対して文章で回答したり、長くて複雑な文書を要約したり、別の文書と比較したりするなど、多様な機能を持っています。MicrosoftのBingは、英語をはじめとする多言語に対応しており、世界中の情報にアクセスできます。

以上のように、BaiduのOpenAIとMicrosoftのBingでは、それぞれに優れたサービスを提供しています。どちらがより良いかは、ユーザーの目的や好みによって異なると思います。

執筆者コメント「中々謙虚な姿勢で回答してくれました笑」

Q. NetEaseは中国ゲーム市場においてどのような存在ですか？

NetEaseは、中国のオンラインゲーム事業の雄であり、中国ゲーム市場でシェア第2位を誇る巨大企業です。NetEaseは、1997年に創業し、eコマースやポータルサイト運営を展開してきましたが、2001年にオンラインRPGゲーム『大話西遊Online』をリリースすると一気にゲーム事業を拡大してきました。NetEaseは、中国本土や日本などを含む海外市場で、人気のあるスマホやPCゲームの開発及び運営を行っており、現在100タイトル以上を展開しています。NetEaseは、高品質なオンラインゲームを提供することにこだわり、世界の各ストアランキングでも上位のヒット作品を多数生み出しています。NetEaseの代表作としては、『荒野行動』『陰陽師』『第五人格』『崩壊3rd』などがあります。

執筆者コメント「ふわっとした質問にも、最低限知りたいことは何かを判断して教えてくれる。」

Q. JD.comはなぜインドネシア市場とタイ市場から撤退するのですか？

JD.comは、中国の電子商取引会社であり、京東商城とも呼ばれます。JD.comは、2023年1月30日に、インドネシアとタイ市場から撤退することを発表しました。JD.comは、タイでは3月3日、インドネシアでは3月31日に全サービスを終了し、注文受付は両市場とも2月15日に停止するとしています。

JD.comの撤退の理由については、公式には明らかにされていませんが、いくつかの可能性が考えられます。一つは、インドネシアとタイの市場での競争が激化し、JD.comが十分なシェアを獲得できなかったことです。インドネシアでは、ショーピーやトカペディアなどの地元企業が優位に立っており、タイでは、ラザダやショーピーなどの東南アジア系企業が強い存在感を示しています。JD.comは、これらの企業との差別化を図ることができず、利益を上げることが難しくなると考えられます。

もう一つは、JD.comが中国本土や他の海外市場に注力するために、インドネシアとタイの市場を見切ったことです。JD.comは、中国本土では、アリババやピンドゥオドゥオなどのライバルとの競争に対抗するために、新規事業や技術開発に力を入れています。JD.comは、他の海外市場では、ヨーロッパや中東などの新興市場に進出することを計画しており、インドネシアとタイの市場は、JD.comの戦略にとって重要ではなくなったと考えられます。

以上のように、JD.comのインドネシアとタイ市場からの撤退には、市場環境や戦略的な判断が関係していると思われる。

執筆者コメント「公式発表していないような内容も、わかっている情報から推測して教えてくれるのもすごいですね。」

Q. Trip.comの社長によるライブコマースは、有力なマーケティング手法と言えますか？

Trip.comは、中国最大のオンライン旅行代理店であり、携程集団とも呼ばれます。Trip.comの創業者である梁建章氏は、コロナ禍で旅行業界が打撃を受けた中で、自ら観光宣伝のライブコマースを行っています。ライブコマースとは、ライブ配信を通じて商品やサービスを紹介し、視聴者に購入を促すマーケティング手法です。

梁建章氏は、これまでに6回のライブコマースイベントを行い、売上高は1億元（約15億円）に達しました。梁建章氏は、ライブコマースで、旅行商品や観光地の魅力を紹介するだけでなく、視聴者との交流や質問にも応えています。梁建章氏は、ライブコマースで、旅行業界の回復に貢献するとともに、Trip.comのブランドイメージや顧客満足度を高めることができています。

Trip.comは、日本でも2020年7月14日に、日本初のライブコマースを行いました。Trip.comは、ライブコマースで、日本の観光地やホテル、レストランなどを紹介し、売上高は7360万円に達しました。Trip.comは、ライブコマースで、日本の旅行需要の喚起や日本の観光業界の支援を目指しています。

以上のように、Trip.comの社長によるライブコマースは、有力なマーケティング手法と言えます。ライブコマースは、旅行商品や観光地の情報をリアルタイムに伝えることができるだけでなく、視聴者とのコミュニケーションや信頼関係の構築にも効果的です²。ライブコマースは、コロナ禍で旅行意欲が低下した消費者に対して、旅行の楽しさや安全性をアピールすることができるマーケティング手法です。

Q. Tencentのゲーム『王者荣耀』はなぜこんなにも人気なのですか？

Tencentのゲーム『王者荣耀』は、中国で最も人気のあるモバイルゲームの一つです。このゲームは、5対5のチーム戦で、中国の歴史や神話に登場するキャラクターを操作して戦うというものです。

このゲームが人気な理由はいくつかありますが、以下のような点が挙げられます。

- ・ Tencentは、中国最大のメッセージアプリWeChat（微信）を運営しており、WeChatのユーザーにゲームを簡単に紹介できるという強みがあります。
- ・ このゲームは、モバイル端末でプレイできるため、場所や時間を選ばずに楽しめます。また、一回のプレイ時間が短く、気軽に参加できるという特徴があります。
- ・ このゲームは、女性プレイヤーにも人気があり、プレイヤーの約半数が女性とされています。¹これは、キャラクターのデザインや声優、ストーリーなどが女性の好みに合っているという理由があります。
- ・ このゲームは、中国の歴史や神話に基づいたキャラクターが多く登場するため、プレイヤーは自分の文化やアイデンティティに親しみや誇りを感じることができるとされています。

以上のように、Tencentのゲーム『王者荣耀』は、様々な要素が組み合わさって、中国で大きな人気を得ているゲームです。

Q. Meituanのフードデリバリーは、中国における競合サービスと比較して、どのような点が支持されていますか？

Meituanのフードデリバリーは、中国で最大のフードデリバリー事業者の一つです。¹中国における競合サービスと比較して、以下のような点が支持されています。

- ・ Meituanは、フードデリバリーだけでなく、旅行・ホテル宿泊予約、エンタメ、飲食店情報・予約、配車、シェアバイクなど、様々なライフスタイルサービスを提供しており、ユーザーのニーズに幅広く応えています。
- ・ Meituanは、フードデリバリーの配達可能な店舗の数が多く、便利さと選択肢の多さが魅力です。また、配達員の待遇や教育にも力を入れており、サービスの品質や安全性を高めています。
- ・ Meituanは、フードデリバリーの利用者の約半数が女性であり、女性の好みに合ったメニューやキャンペーンを展開しています。また、フードデリバリーの利用者の約7割が若者であり、SNSや動画などのプラットフォームとの連携やコラボレーションを行っています。

以上のように、Meituanのフードデリバリーは、中国における競合サービスと比較して、多様なサービスの提供、配達可能な店舗の幅広さ、女性や若者のニーズに応える戦略などが支持されています。

③その他お遊びで...

ここからは同じ質問を、回答の雰囲気を変えて答えてもらいました。ATMX+指数とは直接関係ありませんが「こういった使い方もできるんだ～」と参考程度に眺めていただければ幸いです。

Q.過去半年間の中国株式市場の動向を、小学生にもわかるように、易しい内容で解説して。

過去半年間の中国株式市場の動向を、小学生にもわかるように、易しい内容で解説しますね。

まず、株式市場とは、多くの人が株というものを売ったり買ったりする場所のことです。株というのは、会社の一部を表すもので、株を持っている人はその会社のオーナーの一人になれます。株を買くと、その会社が儲かったら配当というお金がもらえたり、株の値段が上がったら売って利益が得られたりします。

中国には、上海市場と深セン市場と香港市場という3つの株式市場があります。上海市場と深セン市場は中国本土にあり、中国の会社の株が主に取引されています。香港市場は香港にあり、香港の会社や中国の会社の株が取引されています。

過去半年間の中国株式市場の動向を見てみましょう。上海市場の代表的な株価指数は上海総合指数というもので、2022年8月には3700ポイントぐらいでしたが、2023年2月には3600ポイントぐらいに下がりました。深セン市場の代表的な株価指数は深セン成分指数というもので、2022年8月には15000ポイントぐらいでしたが、2023年2月には14000ポイントぐらいに下がりました。香港市場の代表的な株価指数はハンセン指数というもので、2022年8月には26000ポイントぐらいでしたが、2023年2月には24000ポイントぐらいに下がりました。

つまり、過去半年間の中国株式市場は全体的に下落傾向にありました。その理由としては、中国の経済成長の鈍化や、中国政府の規制強化や、米中関係の悪化などが挙げられます。

以上が、過去半年間の中国株式市場の動向の易しい内容での解説です。わかりましたか？

Q.過去半年間の中国株式市場の動向を、証券会社に勤めるエコノミストっぽく、専門用語を多用して、解説して。

過去半年間の中国株式市場の動向を、証券会社に勤めるエコノミストっぽく、専門用語を多用して、解説しますね。

中国株式市場は、上海市場・深セン市場・香港市場の3つの市場に分かれており、それぞれの市場には代表的な株価指数があります。上海市場の主要指数は上海総合指数で、深セン市場の主要指数は深セン成分指数で、香港市場の主要指数はハンセン指数です。

過去半年間の中国株式市場の動向を見てみましょう。上海総合指数は、2022年8月には3700ポイント台を推移していましたが、2023年2月には3600ポイント台に下落しました。深セン成分指数は、2022年8月には15000ポイント台を推移していましたが、2023年2月には14000ポイント台に下落しました。ハンセン指数は、2022年8月には26000ポイント台を推移していましたが、2023年2月には24000ポイント台に下落しました。

つまり、過去半年間の中国株式市場は全体的に下落トレンドにありました。その要因としては、中国の経済成長の減速や、中国政府の規制強化や、米中関係の緊張などが挙げられます。特に、2021年9月には中国の不動産開発大手の中国恒大集団の破綻リスクが高まり、世界の株式市場にも悪影響を及ぼしました。

以上が、過去半年間の中国株式市場の動向の専門用語を多用した解説です。理解できましたか？

Q.過去半年間の中国株式市場の動向を、証券会社に勤めるエコノミストっぽく、専門用語を多用して、解説して。

過去半年間の中国株式市場の動向を、くどいぐらいゴリゴリの関西弁で解説するわ。

中国株式市場は、上海市場・深セン市場・香港市場の3つの市場に分かれてて、それぞれの市場には代表的な株価指数があるねん。上海市場の主要指数は上海総合指数で、深セン市場の主要指数は深セン成分指数で、香港市場の主要指数はハンセン指数やねん。

過去半年間の中国株式市場の動向を見てみよか。上海総合指数は、2022年8月には3700ポイント台をうろちよろしてたけど、2023年2月には3600ポイント台に落ちてもうた。深セン成分指数は、2022年8月には15000ポイント台をうろちよろしてたけど、2023年2月には14000ポイント台に落ちてもうた。ハンセン指数は、2022年8月には26000ポイント台をうろちよろしてたけど、2023年2月には24000ポイント台に落ちてもうた。

つまり、過去半年間の中国株式市場は全体的に下がりっぱなしやったんや。その原因としては、中国の経済成長のスピードダウンや、中国政府の規制キツキツや、米中関係のピリピリやなんかがあるねん。特に、2021年9月には中国の不動産開発大手の中国恒大集団の破綻リスクが高まって、世界の株式市場にも悪い影響を与えてもうた。

以上が、過去半年間の中国株式市場の動向のくどいぐらいゴリゴリの関西弁での解説や。わかったかいな？

執筆者コメント「大阪弁の回答が想像以上に面白かったです笑 「中国政府の規制キツキツや、米中関係のピリピリ」って表現がイイですね笑」

最後に

みなさんいかがでしたか？個人的には、正確性という観点ではまだまだ改善の余地がありますが、「それっぽい情報を集めて良い感じに要約する」という点においては、かなり有用だなと感じました。ただ繰り返し書いているように、正確性という観点ではどうしても改善の余地があるので、BingやChat GPTを利用するのは、①その回答の正確性がそれほど重要でないとき・気にならないとき、②回答が正確かどうかを自分が見分けられるとき、だなと感じました（Twitterでも似たようなことが言われていました）。

是非皆さんも試してみてください！

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目録見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 本PDFは印刷に不向きなデザインです。
- 本資料は上記の他社運営サービスを紹介するためのものであり、その利用を推進するものではありません。
- 上記の他社運営サービス利用判断については、ご自身で判断の上ご利用ください。
- 上記の他社運営サービスを利用したことによって生じた損害については、その理由を問わず、当社は一切の責任を負いかねます。